

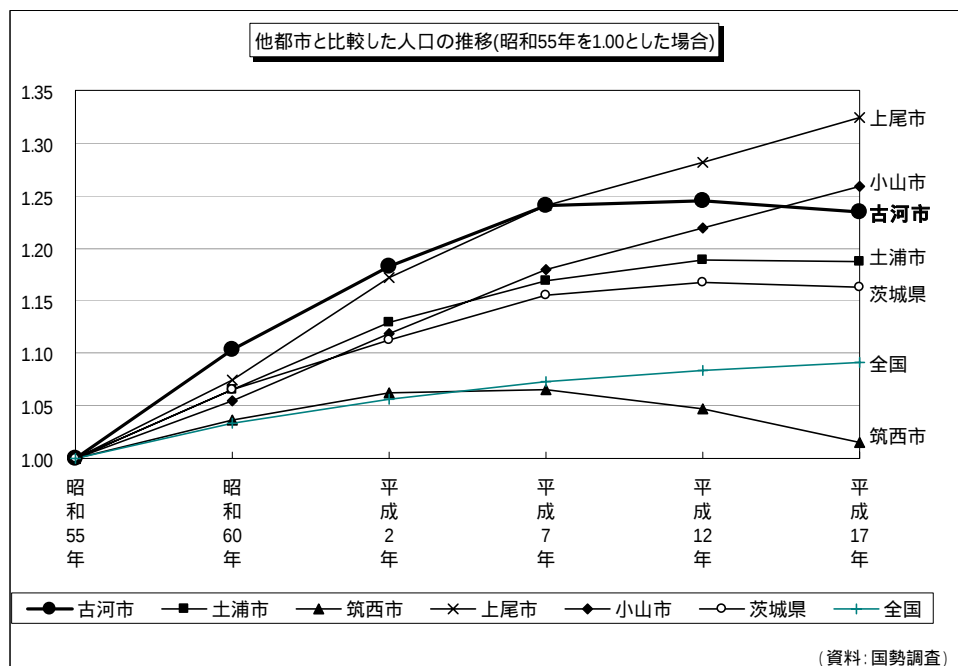
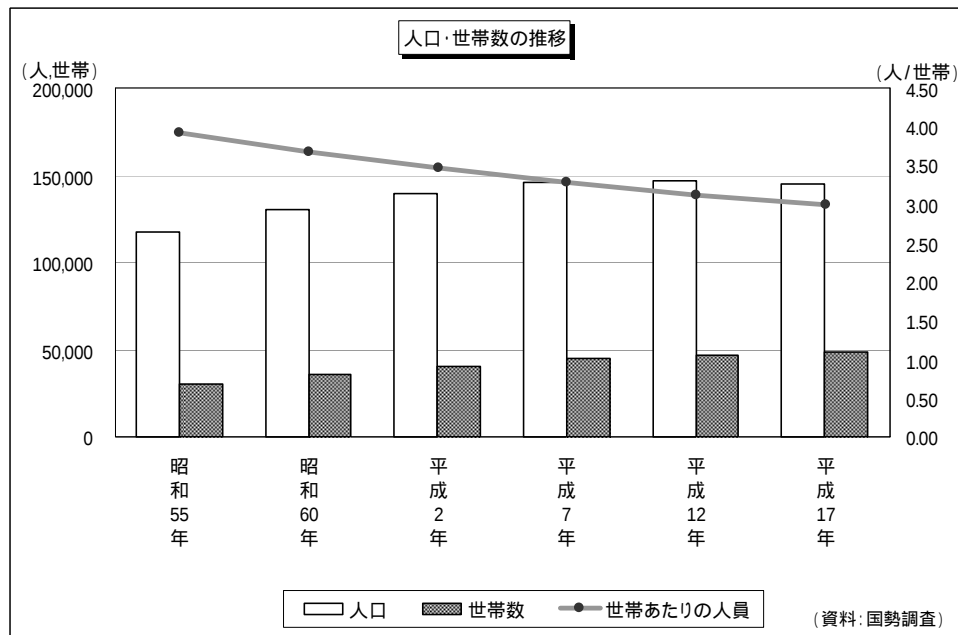
第3章 地域の概況

1. 人口・世帯等

人口・世帯数の推移

人口は平成7年以降、徐々に減少しており、平成17年時点では145,265人となっている。世帯数は増加傾向にあり、平成17年度時点では48,511世帯であるが、世帯人員は減少し、平成17年度時点で2.99人である。

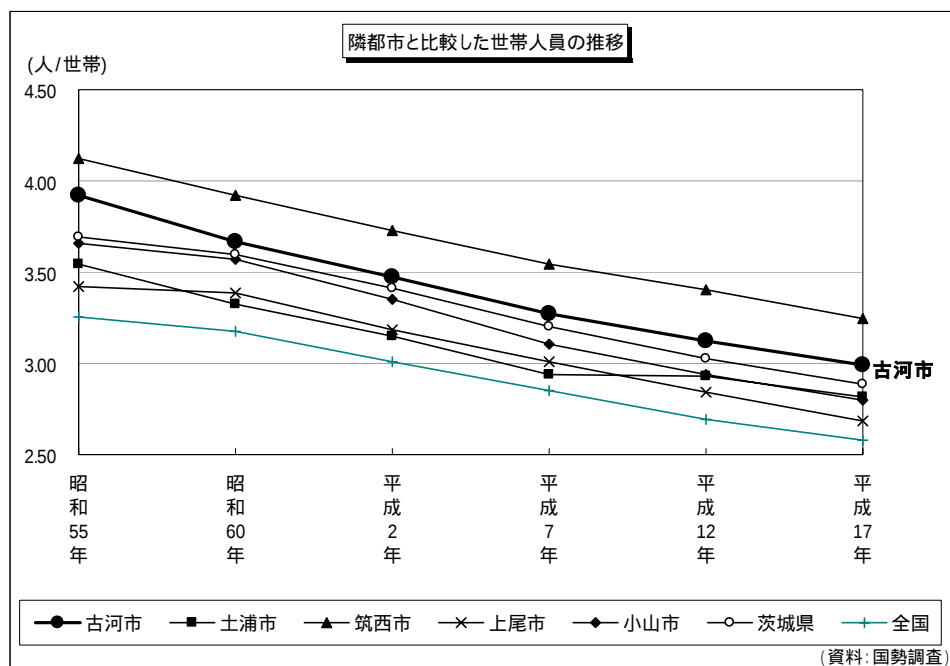
近隣都市と比較すると、減少推移率が最も高い傾向にある。



平成17年以前の本市データは、旧古河市、旧総和町、旧三和町の合併前の合計値としている。

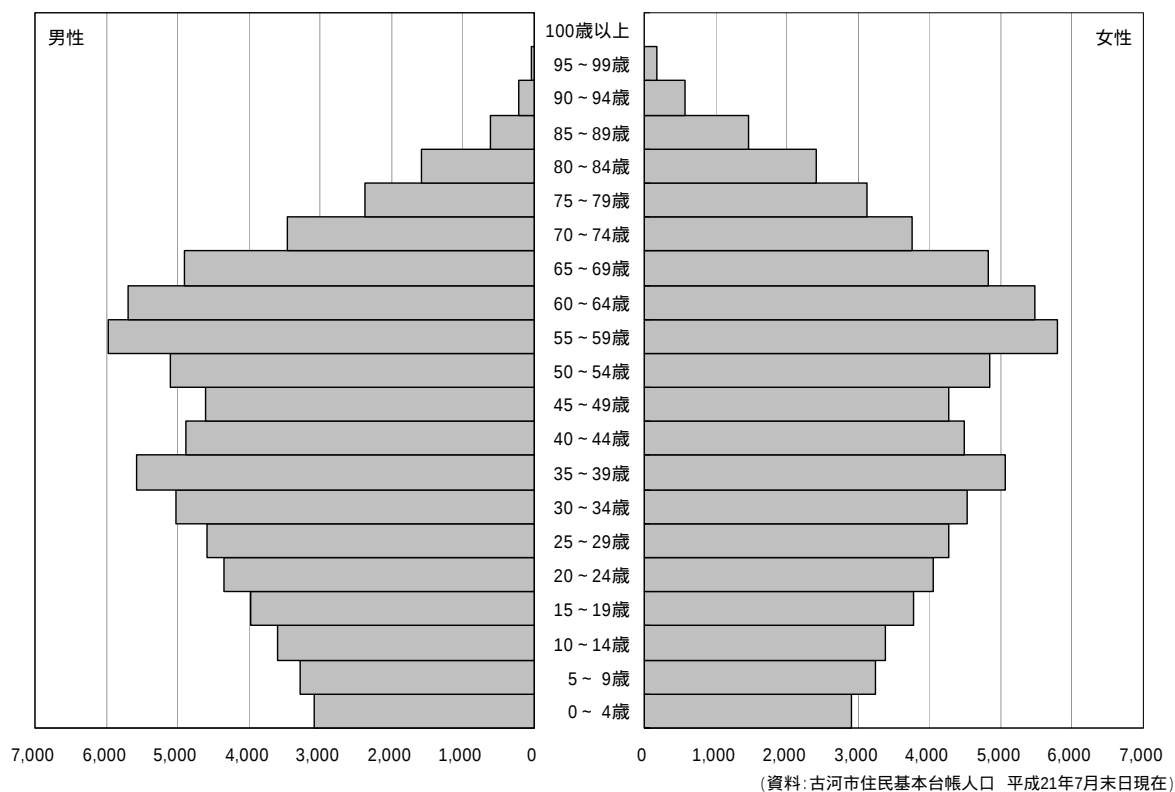
近隣都市との世帯人員推移比較

世帯人員推移は、近隣市を含めて同じ傾向にあり、昭和 55 年から減少傾向にある。古河市では、平成 17 年には 2.99 人/世帯となり、昭和 55 年の 3.92 人/世帯から 0.93 人/世帯減少している。



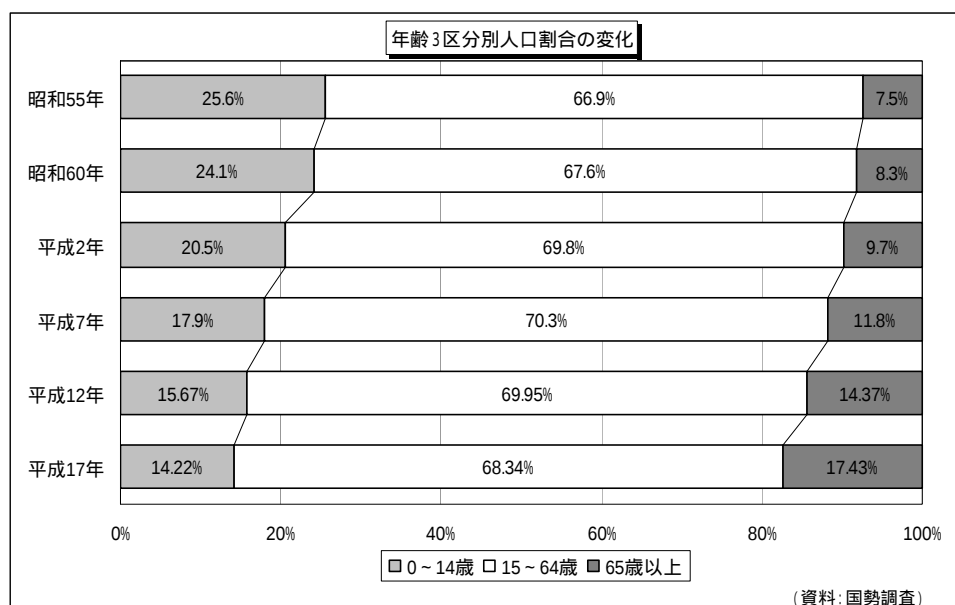
人口ピラミッド

本市では、55～59歳の人口が男女ともに最も多く、次いで60～64歳の人口が多くなっている。



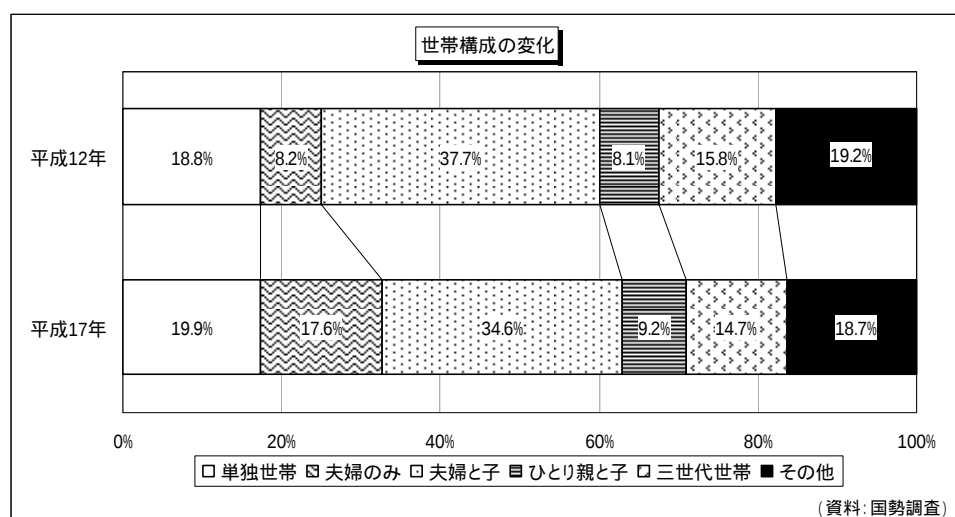
年齢3区分別人口推移

昭和 55 年からの変化をみると、0～14 歳人口は 25.6%から 14.2%に減少し、老年人口が 7.5%から 17.4%に増加しており、少子・高齢化が進んでいる。



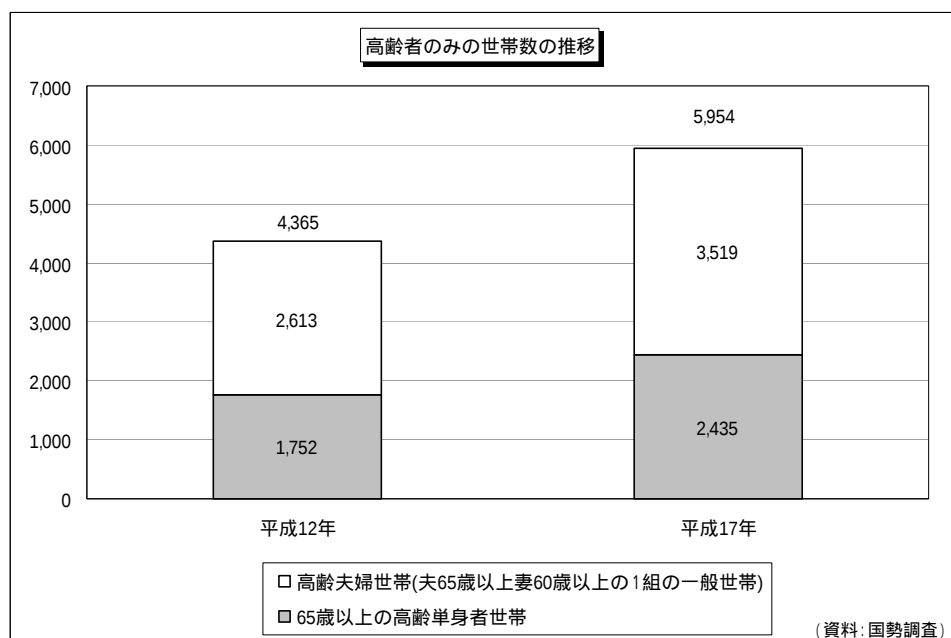
世帯構成の変化

古河市の世帯構成は、夫婦と子世帯が 34.6%と多くなっている。
しかし、夫婦と子世帯は、平成 12 年の 37.7%から 34.6%に減少しており、一方で夫婦のみ世帯が 8.2%から 17.6%に増加している。



高齢者世帯について

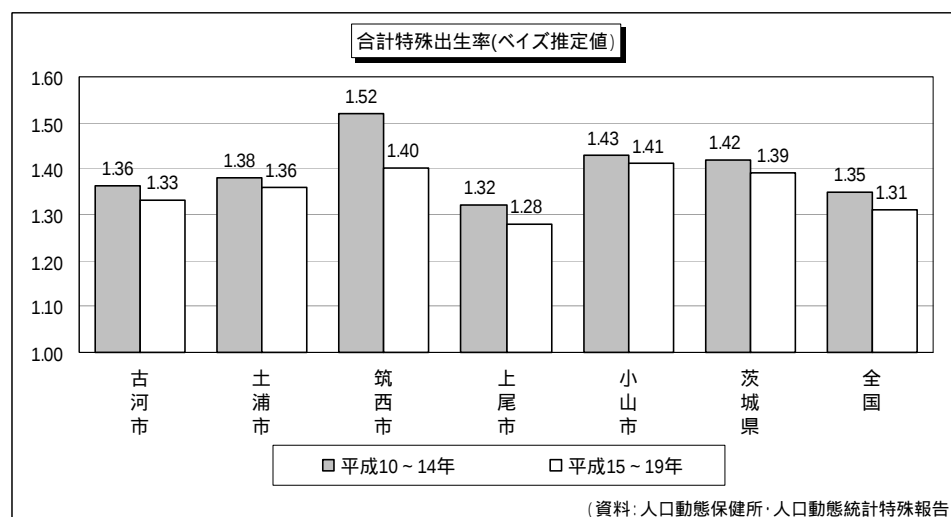
高齢者のみの世帯数は、平成 17 年で 5,954 世帯あり、平成 12 年から 5 年間で約 1.3 倍に増加している。



合計特殊出生率

合計特殊出生率を近隣都市で比較すると、古河市は 1.33 (平成 15～19 年) と茨城県平均 1.39 よりも低い数値であり、近隣都市の中でも低い数値となっている。

また、平成 10～14 年の調査結果よりも低い数値になっている。



合計特殊出生率とは...一人の女性が一生に産む子供の数

身体障害者数

本市の身体障害者数は、本市人口の 2.74% となっている。

地区	身体障害者数(人)	割合(%)
古河地区	1,634	1.12%
総和地区	1,239	0.85%
三和地区	1,107	0.76%
合計	3,980	2.74%

資料: 古河市
平成21年3月31日 時点

地区別生活保護者数

本市の生活保護者数は、本市人口の 0.77% となっている。

地区	生活保護者数(人)	割合(%)
古河地区	677	0.47%
総和地区	287	0.20%
三和地区	155	0.11%
合計	1,119	0.77%

資料: 古河市
平成21年3月31日 時点

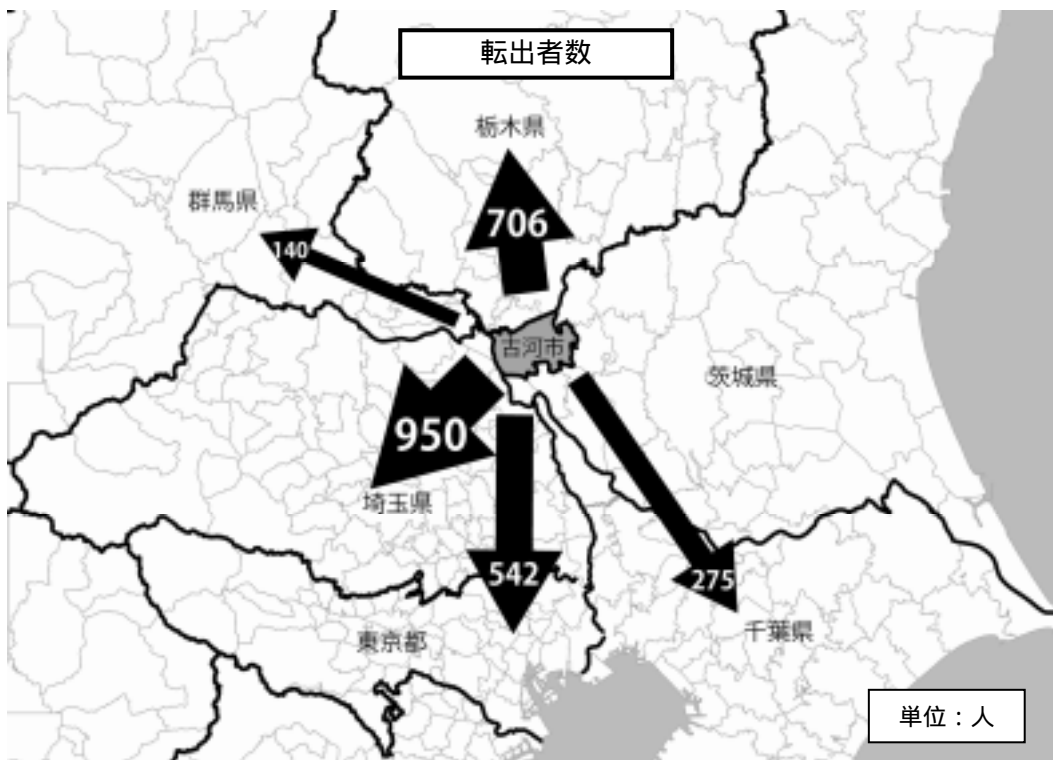
転入・転出の状況

転入については、栃木県・埼玉県からの割合が高い。



資料：茨城県常住人口調査結果報告書（平成 20 年）

転出については、栃木県・埼玉県・東京都への割合が高い。



資料：茨城県常住人口調査結果報告書（平成 20 年）

2. 土地利用状況

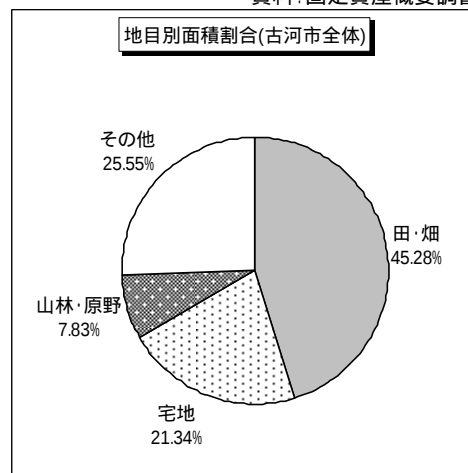
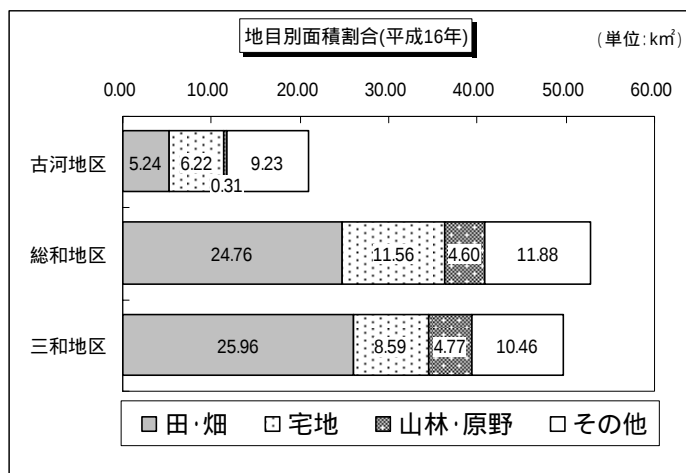
土地利用状況

古河市は、田・畑の割合が全体の45%を占めており、総和地区、三和地区での割合が高い。

(単位: km², %)

	総面積	田・畑		宅地		山林・原野		その他	
		平成6年	平成16年	平成6年	平成16年	平成6年	平成16年	平成6年	平成16年
古河地区	21.00	5.67	5.24	5.87	6.22	0.42	0.31	9.06	9.23
総和地区	52.80	26.20	24.76	10.23	11.56	5.50	4.60	10.87	11.88
三和地区	49.78	27.11	25.96	8.17	8.59	5.57	4.77	8.93	10.46
合計	123.58	58.98	55.96	24.27	26.37	11.49	9.68	28.86	31.57
構成比	100.00	47.73	45.28	16.64	21.34	9.30	7.83	23.35	25.55

資料: 固定資産概要調査



用途地域

本市の都市計画区域及び用途地域の指定状況は、次図のとおりとなっている。

用途地域は、古河駅周辺に商業地域が配置され、その周辺に住宅系用途が配置されている。

三和地区の大部分は、市街化調整区域である。

公園分布

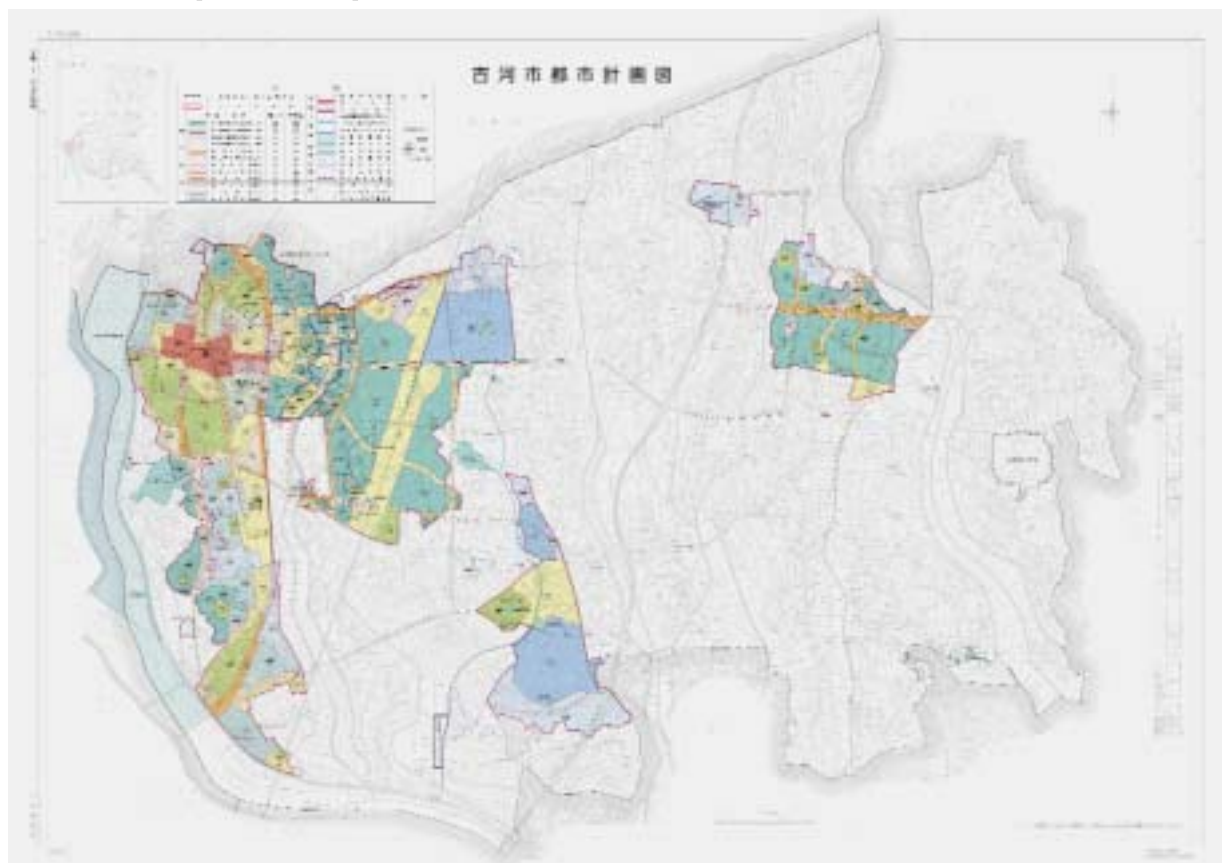
古河地区では、大規模な都市緑地があり、都市公園や開発公園が数多く分布している。総和地区でも都市公園が数多く分布しているが、三和地区については、他地区に比べ公園数が少ない。

市全域での公園面積は、一人当たり 14.78 m²で、茨城県が目標とする都市公園整備水準 9.50 m²を上回っている。

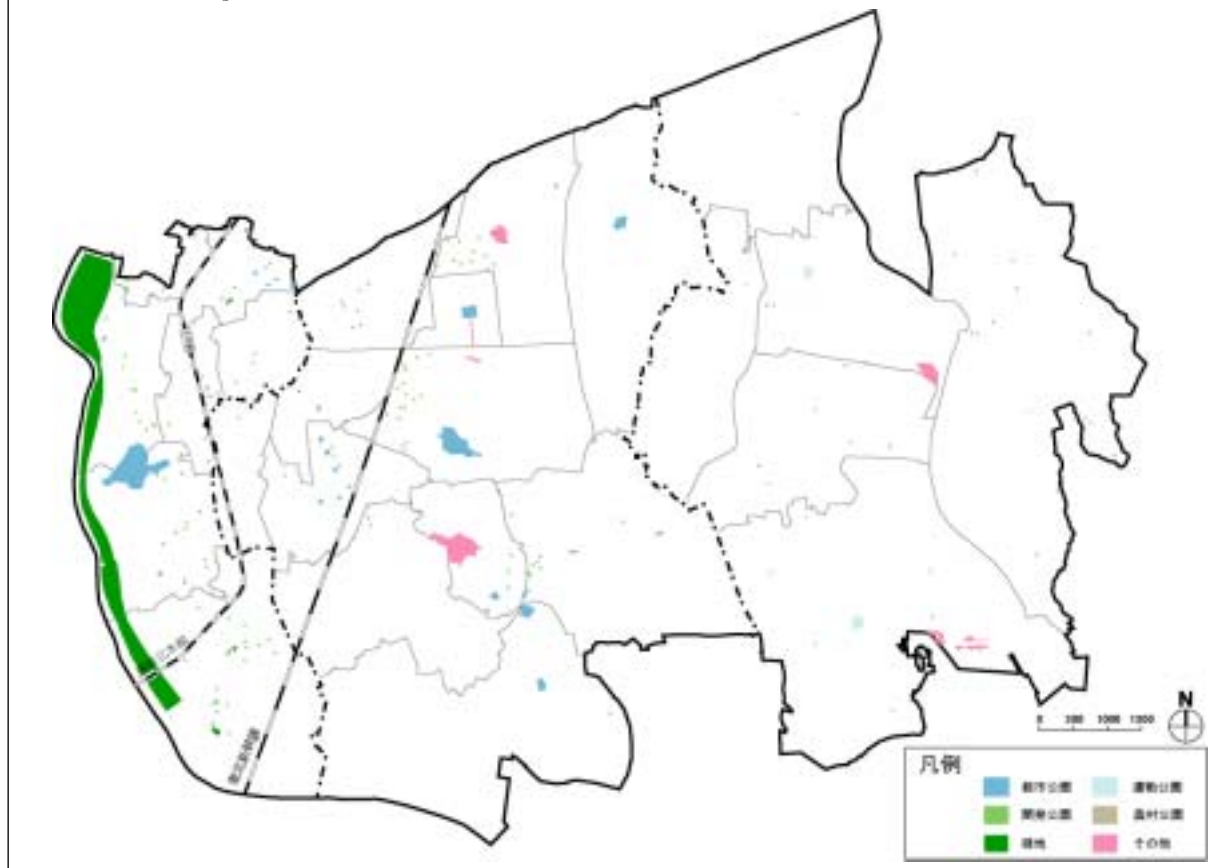
(単位: m²)

地区名	運動公園	開発公園	都市公園	都市緑地	農村公園	緑地	その他	総計
古河地区	-	32,456	250,132	1,139,000	-	4,518	3,171	1,429,276
総和地区	-	15,440	329,224	-	-	-	204,384	549,047
三和地区	45,143	4,287	-	-	23,241	-	96,749	169,420
総計	45,143	52,183	579,356	1,139,000	23,241	4,518	304,304	2,147,744

■都市計画図（用途地域図）



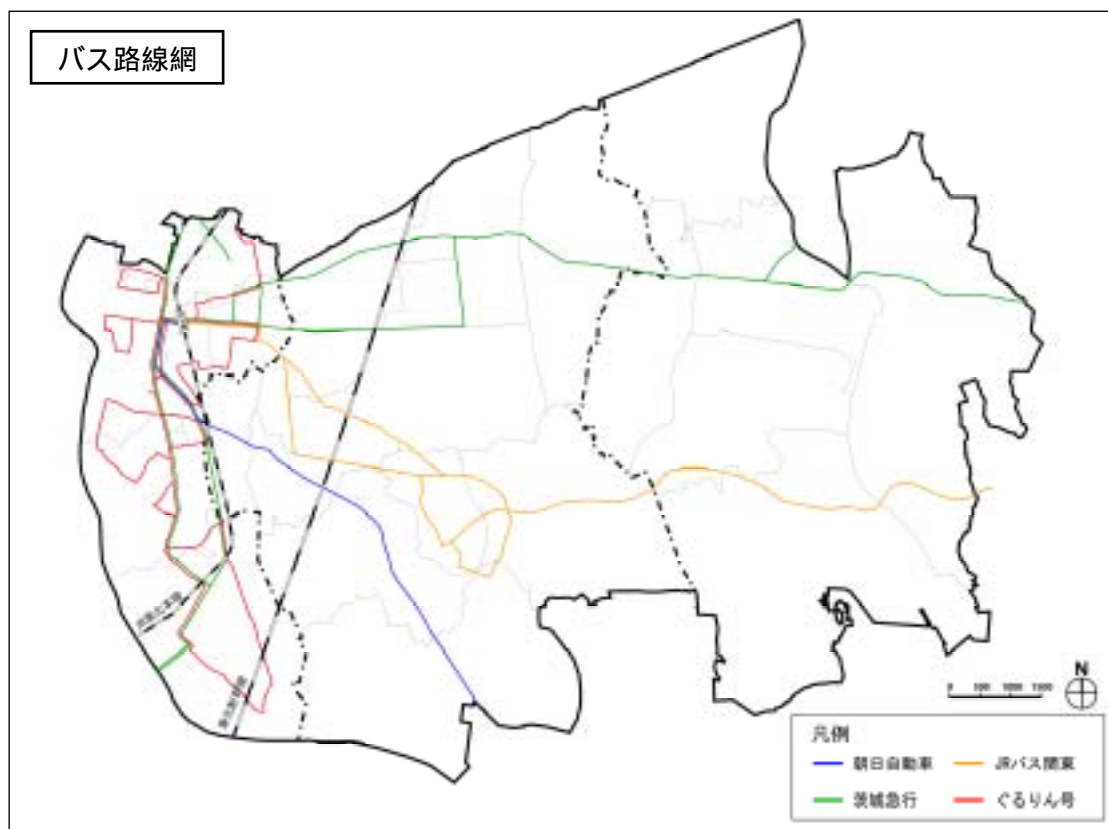
■公園分布図（資料：古河市公園緑地課）



3．公共交通機関

古河地区では、ぐるりん号をはじめとしてバス路線網が充実しているが、総和地区、三和地区については、不足している状況にある。

しかし、総和地区、三和地区には、デマンド交通として乗合タクシー「愛・あい号」が運行しており、通院や買い物、公共施設利用等で市民の生活の足となっている。



4 . 小・中学校の分布

本市の学区は、小学校区が23区、中学校区が9区となっている。
以下に、小学校区図を示す。

